

平成8年度総会御案内

日時 6月15日(土) 午後3時 場所 母校 本庄高校視聴覚教室
 御招待予定恩師 相川徳平、関口昌助両先生
 内容 (1) 午後3時 通常総会 (3) 午後5時 懇親会 会費3,000円
 (2) 午後4時 記念音楽会
 ソプラノ独唱 西田久美子
 (高4 4回卒・武蔵野音大卒)



発行
 県立本庄高校同窓会
 会長 戸谷全克
 事務所 本庄市中央1-7-21
 戸谷八内
 ☎0495(22)2008

名簿発刊に寄せて

同窓会長 戸谷全克
 (高一回卒)



今年の春は例年になく寒さが続き、北国では大雪に見舞われた所もありました。この異常気象もお花見が長く出来たと云う思わぬ拾い物も一方では生じました。

報をご覧になられる時には新しい会員名簿がお手元に届いておる事と思えますのでその事に一寸触れさせていただきます。我が母校のある児玉郡には埼玉県始め東京都並びに神奈川県の一部を含む所謂「武蔵野國」の鎮守である二の宮金鑽神社が鎮座します事は皆様御承知の事と思えます。そこで母校の御発展と会員皆様への御健勝を祈念する意味合いから、幸いにも宮司様が卒業生と云うご縁で懇願して名簿の題字にご健筆を揮って戴いたのであります。

もう一つ表紙絵の件ですが昭和二十年代までは母校の回りは「中学校山」と云われた平地林が囲み、情緒豊かな武蔵野の面影が色濃く残っておりました。そしてそれを睥睨するよう柏塔が聳えて見えたものでした。先輩方には往時を偲んで頂き、後輩には伝統の重みを味わって貰いたいと願い、それに相応しい絵を

持田先生に画集の中から選んで戴いたのであります。最後にになりましたが今回の総会は、校長先生を始め教職員の方々の協力により、母校視聴覚教室での開催になりました。是非総会にご出席になり、母校の現況をご覧いただければ幸いです。尚、招待恩師には共に卒業生でもあります相川徳平先生(旧中一)と関口昌助先生(旧中六)にご出席をお願い致しました。

本部・支部役員

顧問	岡 祐孝	中9
監事	江原 清吉	高4
監事	竹内恵美子	高6
会計	清水 正一	高6
会計	内野ヨシエ	女16
副会長(教頭)	藤塚 光臣	高12
副会長(教頭)	萩原 洋造	高12
副会長	小林 晶	高12
副会長	竹並栄一郎	併中2
副会長	吉田 建治	高2
副会長	塚越 寿衛	高2
副会長	清水 實	中19
副会長	高木 敏子	女8
副会長	立川 大作	中9
副会長	戸谷 全克	高1
副会長	上里七本木 斎藤	勝次高14
副会長	上里賀美 小野 英彦	高14
副会長	上里神保原 森村 信行	高14
副会長	神 泉 新井 従信	中15
副会長	神 川 金井 久直	中22
副会長	美 里 春山 一三	高3
副会長	兒 玉 吉田 建治	高2
副会長	今 井 岡岸 鶴五郎	中10
副会長	北 泉 門倉 義久	中11
副会長	旭 龜田 本二	高4
副会長	仁 手 福島 好正	高3
副会長	藤 田 荻野 清	中8
副会長	朝 日 町 内藤 明	高3
副会長	諏 訪 町 井上 昌幸	中22
副会長	末 広 町 野枝 直治	高5
副会長	南 本 町 村田 敬次郎	中22
副会長	台 町 松本 敬一	定1
副会長	本 町 矢代 和正	高6
副会長	七 軒 町 町田 一徳	高5
副会長	仲 一 町 中田 脩一	中19
副会長	照 若 町 飯野 利衛	中19
副会長	上 町 境野 登	高2
副会長	泉 町 竹並栄一郎	併中2
副会長	宮 本 町 卜部 義典	高1
副会長	顧問(校長)	坂本 博 高7

(上) 旧中時代の母校風景 (絵 持田政郎・高2回卒画く)
 (下) 改築予定の格技場(右端)をのぞむ



柏陵消息

志を立てる

学校長 坂本 博 (高七回卒)

御協力を頂き厚く御礼申し上げます。

お蔭様で本庄高校は充実した活動を行っております。

本年の春の進路結果では、現役の生徒の活動が目立ち、努力の成果がでてきました。近頃の生徒は概して真面目



同窓会会員の皆様には、母校発展のため日頃より御支援

後悔有り

相川 徳平 (本中一回卒・旧母校職員)

生命を奪っているであろう。その事も含めての反省の言であらうが、私には殺人の経験は無いが、恥ずかし乍ら省みて後悔の念のみである。私は八十七歳になる。過去は茫々として通けく、総べておぼろおぼろであるが、その茫々としておぼろおぼろの中に、断片的に鮮烈に後悔の念に責められる事どもが、最近頻りに



「我、事に於て後悔無し」と、劍豪宮本武蔵は言っている。彼の言う「事」とは何を指しているのか。多分彼のことだから生涯何人かの

で素直でありますが、往年の生徒と比べて、進取の気風とか覇気に欠けると一般にいわれていますが、本校も例外ではありません。

質実剛健の校風を伝統とした先輩諸氏の若者たちへの激励の声が若葉の風にならぬように聞こえてくるようです。

「十有五にして学を志し」とありますが、高校時代、生徒諸君が、人生の在り方をしっかりと見据えて自らの理想や思索を練り、精神的に豊かな人生を創造して欲しいと願って

あれこれと脳裏に浮かんで来るのである。そしてそれは自戒ともなるのである。「あの時ああ言えばよかった、ああすればよかった」などと。然し乍ら、人間誰しも日常の言動に総べて万全という訳にはいかないものであるからと、我と我が身を教す気持も無い訳ではないが、とは言え反省して後悔することは、己の思慮の浅さと愚かさを切々と思

い知らされるのである。それにして、冥土に行つて、エンマ大王に指摘されるような罪状は無いつもりだが

ています。以前から本高生は晩成型の人が少なくなかった。才気煥発ではないが、地味な実力養成、思いやりを大切にしてきました。

人生八十年代、二十代や三十代で花を咲かせて、四十代で萎むより、五十歳過ぎてから大輪の美しい花を咲かせてと期待しています。

これからの時代は独創性や創造力が大事なものとなりま

生きていく間に、反省し後悔することは、自戒にもつながるので、精神的修業にもなるのではなからうか。つまり、多少心境的に、次元の高いものが得られるであろう。

只取り返しのつかないことがある。それはあれこれの人から受けた恩である。それ等の人は今は在世していない。ご恩返しが出来ないのである。これは如何ともしがたいのである。せめて、次代の者に多少の恩恵らしきことをすることによってその罪を償おう。

平成七年度 事業報告

- 7年4月(1)母校入学式に出席
- (2)統一地方選立候補 会員を激励
- (3)会員名簿協力委員の選定

6月(1)会報21号発行

(2)通常総会開催

8月 調査カード発送

11月 中高連絡会開催

12月(1)会報22号発行

(2)年賀状発送

8年2月 支部長会議並びに新年会開催

3月(1)助成金及び育英金を贈呈

(2)新会員入会式開催

(3)母校卒業式に出席

平成八年版 会員名簿発刊

去る五月十五日待望の新名簿が出来上がり予約した方には発送されました。未だ残部がありますのでご希望の方は四千円を添えて学校又は事務局までお申し込み下さい。

「二七二会員名簿」に「二七二」を注意を

新会員名簿が発刊されますとその後から決まって「職業別会員名簿」なるものが同窓会名を装って発行されます。被害に会わぬよう注意を払い勧誘された場合は学校又は同窓会事務局にご一報下さい。

総会を 母校で開催

数年来会員の中から総会を母校で開催して欲しいと言う声がかかるようになり、役員会に於てもその是非について話し合いの場を持つておりましたが、今回学校側のご了解とご協力が得られましたので待望の母校での総会開催の運びになったのであります。こういう機会でもないと中々母校に足を向ける事もないのではないかと思います。どうか奮って総会に参加することにも、その前に時間を作って頂き変わりに母校の現況をご自分の眼でごらんになり、有意義なご提案など戴ければ望外な喜びになるわけであり

「訂正のお願い」

十二月発行の二二二号二頁の末尾寄稿者のお名前を誤って「たかぎ・たかし」としてしまいました。ただしくは「たかぎただし」であります。この紙面をお借りしてお詫び申し上げますと共に訂正をお願い致します。

坦蕩々々 (たんにしてとうとう) (たんにしてとうとう) 心平かで且つ広い (論語)

進路状況報告

進路指導部
藤掛サクラ

今春の本庄高校の進路状況は下の表の示す通りです。

現役の四年制大学は増加しついに九〇名となりました。

短大は八七名で昨年とほぼ同数、専門学校は七三名、就職は五名でした。浪人は昨年より二十数名減少し、来春をめざし頑張っています。センター試験の受験者は約九〇名でした。特徴的なこととしては、専門学校が増加、浪人の減少、公務員等の驚異的難化傾向の継続が挙げられます。

本校では、生徒の進路希望に対応し、一・二年生は年五回の実力テスト、三年生は、年十回の模試、五回の公務員模試、四回の看護医療系模試を実施しています。また、学力向上を目指し、補習授業等を三年生を中心に、放課後や長期休業中に実施しています。

一・二年生は、秋に講師を招いて進路説明会を、三年生は、一学期に、進路ガイダンス、講師を招いての進路説明会及び分野別分科会等を学校で実施しています。

一人でも多くの生徒の進路希望が実現できるよう、学校全体で取り組んでいます。

国立大学		人数
1	群馬大学	3
2	高崎経済大学	3
3	群馬県立女子大学	1
4	埼玉大学	1
5	図書館情報大学	1
6	電気通信大学	1
7	東京学芸大学	1
8	東京芸術大学	1
9	東京都立科学技術大	1
10	東京都立大学	1
11	福岡県立大学	1
12	福島大学	1
合計		16

私立大学		人数
1	大東文化大学	30
2	東洋大学	28
3	城西大学	23
4	日本大学	22
5	国士舘大学	13
6	東海大学	10
7	東京国際大	10
8	駒沢大	9
9	立正大学	8
10	法政大	7
11	中央大	6
12	帝京大	6
13	明治大	5
14	駿河台大	5
15	足利工業大	5
16	立教大	5
17	工学院大	4
18	神奈川大	4
19	専修大	4
20	東京理科大	4
21	女子栄養大	3
22	早稲田大	3
23	東京電機大	3

24	獨協大	3
25	武蔵野音楽大	3
26	立教大	3
27	亜細亜大	2
28	聖学院大	2
29	跡見学園女子大	2
30	多摩美術大	2
31	大正大	2
32	拓殖大	2
33	日本女子大	2
34	武蔵大	2
35	流通経済大	2
36	國學院大	2
37	愛知学院大	1
38	杏林大	1
39	関西外国語大	1
40	関東学園大	1
41	京都産業大	1
42	京都女子大	1
43	玉川大	1
44	金沢工業大	1
45	江戸川大	1
46	高千穂商科大	1
47	国立音楽大	1
48	埼玉工業大	1
49	十文字学園女子大	1
50	淑徳大	1
51	昭和薬科大	1

52	神奈川工科大学	1
53	成城大	1
54	清泉女子大	1
55	聖徳学園大	1
56	西東京科学大	1
57	青山学院大	1
58	静岡理工科大	1
59	千葉工業大	1
60	千葉商科大	1
61	帝京平成大	1
62	東京音楽大	1
63	東京経済大	1
64	東京薬科大	1
65	東邦大	1
66	東北工業大	1
67	東北福祉大	1
68	東北薬科大	1
69	東洋学園大	1
70	二松学舎大	1
71	武蔵野女子大	1
72	平成国際大	1
73	北海道東海大	1
74	北海道薬科大	1
75	麻布大	1
76	明星大	1
77	目白大	1
78	麗沢大	1
合計		288

現役の進路状況(最近5カ年の実数)下表

卒業年	1992	1993	1994	1995	1996
国公立大	5	1	3	5	2
私立大学	66	66	80	72	88
短期大学	98	102	74	89	87
専門学校	75	62	66	52	73
就職	15	4	6	9	5
その他	218	183	178	178	154
卒業生数	477	418	407	405	409

